

下水道事業

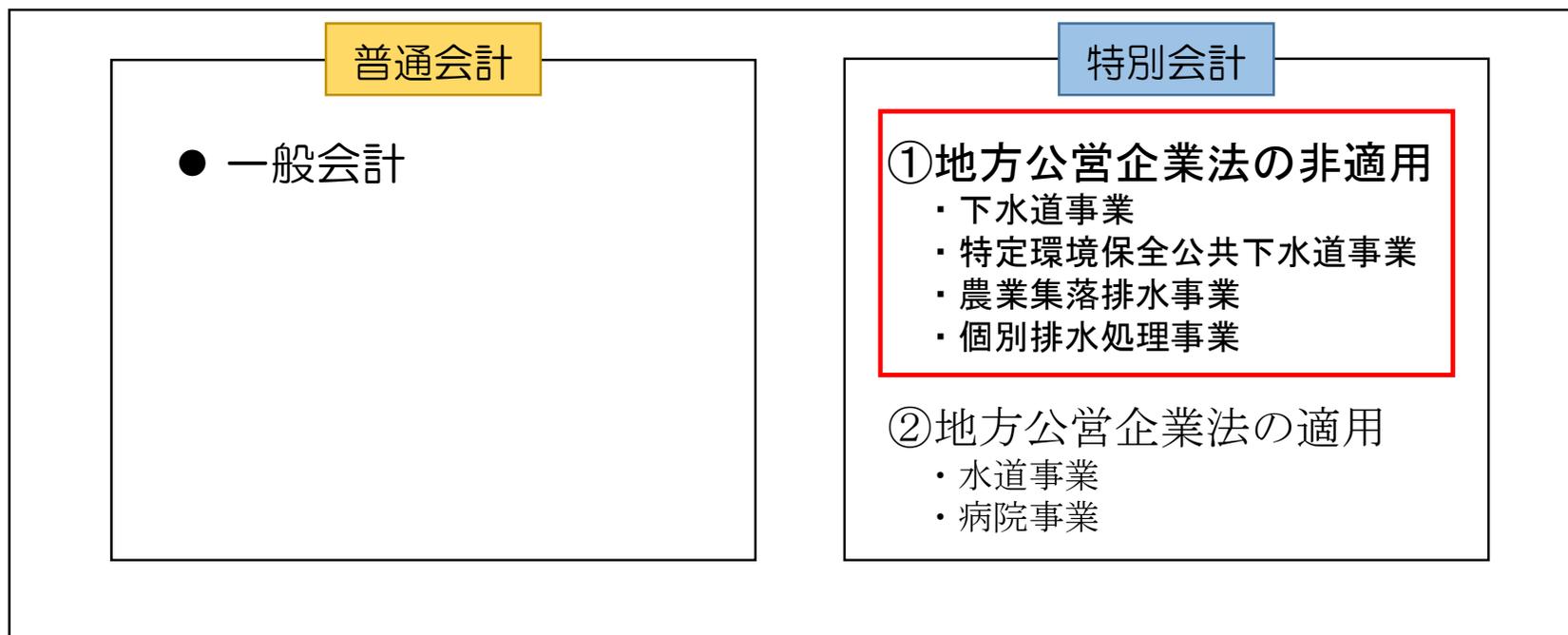
～今後の見通しについて～

目次

1. 下水道事業の地方公営企業法の全部適用について
2. 今後の整備の見通しについて

1. 下水道事業の地方公営企業法の全部適用について

(1) 現在の会計制度の仕組み



● 一般会計

① 特別会計（法非適用）

② 特別会計（法適用）

官庁会計方式、現金主義会計で単式簿記

官庁会計方式、現金主義会計で単式簿記

企業会計方式、発生主義会計で複式簿記

(2) 地方公営企業法適用の背景

人口減少による料金収入の減少、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大など厳しさを増す経営環境を踏まえ、**公営企業の経営基盤の強化、財政マネジメントの向上に取り組むために、公営企業会計の適用を推進**することを目的として、総務省から「公営企業の適用の推進について」（平成27年1月27日）が通知され、事業への法適用が要請されました。

(3) 公営企業会計の特徴と適用のメリット

○経営状況の把握による会計情報の明確化

- ・民間企業と同じ複式簿記による経理を導入し、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、固定資産台帳等）を作成することで、経営成績、財務状況、資産等を正確に把握することができます。
- ・各種経営指標による経営分析が可能となり、同規模団体との比較がより分かりやすくなります。
- ・経営状況の把握・分析により経営計画の見直しに役立てることができます。

○計画的な施設の維持管理と改築更新が可能となる

- ・固定資産台帳の作成により、資産の基礎情報となる施設の経済的価値、老朽化等の状況が把握できるようになり、計画的な施設・設備の更新、適切な維持管理に活用することが可能となります。

○下水道使用料の適正化

- ・公営企業会計では、官庁会計方式にはない減価償却費を計上し明確な総括原価を算定することができます。これにより、あるべき収益水準を踏まえた適正な使用料の算定ができます。

(4) 官庁会計方式から企業会計方式への移行イメージ。

官庁会計方式から企業会計方式への移行イメージ図

官庁会計方式		企業会計方式											
年度内の現金の出入りを重視		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 損益計算書 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #f8d7da; text-align: center; padding: 5px;">費用</td> <td style="background-color: #d1ecf1; text-align: center; padding: 5px;">収益</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 維持管理費 • 起債利息償還金 • 減価償却費など </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 下水道使用料 • 一般会計負担金 など </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">損益</td> <td></td> </tr> </table>		費用	収益	<ul style="list-style-type: none"> • 維持管理費 • 起債利息償還金 • 減価償却費など 	<ul style="list-style-type: none"> • 下水道使用料 • 一般会計負担金 など 	損益					
費用	収益												
<ul style="list-style-type: none"> • 維持管理費 • 起債利息償還金 • 減価償却費など 	<ul style="list-style-type: none"> • 下水道使用料 • 一般会計負担金 など 												
損益													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <th style="background-color: #f8d7da; text-align: center; padding: 5px;">歳出</th> <th style="background-color: #d1ecf1; text-align: center; padding: 5px;">歳入</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 維持管理費 • 事業費 (工事・設計委託等) • 起債元利償還金 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 受益者負担金 • 下水道使用料 • 国庫補助金 • 一般会計繰入金 </td> </tr> </table>		歳出	歳入	<ul style="list-style-type: none"> • 維持管理費 • 事業費 (工事・設計委託等) • 起債元利償還金 	<ul style="list-style-type: none"> • 受益者負担金 • 下水道使用料 • 国庫補助金 • 一般会計繰入金 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 貸借対照表 </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※翌年度以降の事業活動の基になるもの</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="background-color: #d4edda; text-align: center; padding: 5px;">資産</td> <td style="background-color: #fff3cd; text-align: center; padding: 5px;">負債</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 固定資産 • 下水道管などの構築物など • 流動資産 • 現金預金、未収金 など </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 固定負債 • 企業債 • 流動負債 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> 資本 <ul style="list-style-type: none"> • 資本金 </td> </tr> </table>		資産	負債	<ul style="list-style-type: none"> • 固定資産 • 下水道管などの構築物など • 流動資産 • 現金預金、未収金 など 	<ul style="list-style-type: none"> • 固定負債 • 企業債 • 流動負債 		資本 <ul style="list-style-type: none"> • 資本金
歳出	歳入												
<ul style="list-style-type: none"> • 維持管理費 • 事業費 (工事・設計委託等) • 起債元利償還金 	<ul style="list-style-type: none"> • 受益者負担金 • 下水道使用料 • 国庫補助金 • 一般会計繰入金 												
資産	負債												
<ul style="list-style-type: none"> • 固定資産 • 下水道管などの構築物など • 流動資産 • 現金預金、未収金 など 	<ul style="list-style-type: none"> • 固定負債 • 企業債 • 流動負債 												
	資本 <ul style="list-style-type: none"> • 資本金 												
<ul style="list-style-type: none"> • 経営状況が分かりにくい。 • これまで構築してきた資産や、借入の状況がわからない。 		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>※損益計算書 (PL)</p> <p>費用と収益の状態（一定期間における経営成績）に関する情報を提供する書類</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>※貸借対照表 (BS)</p> <p>資産と負債の状態（ある一定時点における財政状態）に関する情報を提供する書類</p> </div>											

(5) 地方公営企業法適用までの移行事務手続き

固定資産 台帳の整備

- H29～H30年度：資産調査を実施
- R元年度：固定資産台帳を整備

移行事務

- 地方公営企業法を適用するための条例改正（R元年12月議決）
- R2年3月までに：企業管理規程など例規の整備

会計方式へ の移行

- H30～R元年度：会計システムの構築
- R2年3月議会：R2年度当初予算を公営企業会計方式で編成して上程
- R2年3月31日：令和元年予算を打ち切り決算
- R2年4月1日：下水道事業の地方公営企業法の適用

2. 今後の整備の見通しについて

(単位：千円)

事業区分		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	事業費計	
公共下水道 管路整備	中津川処理区	青木斧戸工区 (R4年度完了)												
		36,000	64,200	40,800	8,500	23,500	0						173,000	
	坂本処理区	R7年度事業完了												
			264,700	251,300	237,100	290,100	252,500	153,400					1,449,100	
	計		300,700	315,500	277,900	298,600	276,000	153,400					1,622,100	
終末処理場	公共	公共処理施設全体	ストックマネジメント計画策定		ストックマネジメント計画に基づき更新計画見直し								97,000	
			17,000	80,000										
		中津川浄化管理センター			シーケンサ更新事業									363,000
					13,000	150,000	200,000							
	特環	ストックマネジメント計画策定		ストックマネジメント計画に基づき機器更新の計画見直し								0		
農集	農集処理施設全体					最適整備構想計画見直し		最適整備構想計画に基づき更新計画見直し					40,000	
						20,000	20,000							
	蛭川南部農集処理施設	42,500											42,500	
	計	59,500	80,000	13,000	170,000	220,000	0	0	0	0	0	0	542,500	
MP改良 工事	公共	緊急通報装置	13,200	13,200	13,200									39,600
		市単独事業	7,928	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	79,928
	特環	緊急通報装置	7,700	7,700	7,700									23,100
		市単独事業	16,055	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	160,055
	農集	市単独事業	5,743	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	57,943
	計	50,626	50,700	50,700	29,800	29,800	29,800	29,800	29,800	29,800	29,800	29,800	360,626	
処理場 改良 工事	公共	市単独事業	3,157	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	31,957	
	特環	市単独事業	7,480	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	74,980	
	農集	市単独事業	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	10,000	
	計	11,637	11,700	11,700	11,700	11,700	11,700	11,700	11,700	11,700	11,700	11,700	116,937	
	合計	422,463	457,900	353,300	510,100	537,500	194,900	41,500	41,500	41,500	41,500	41,500	2,642,163	

※1 下水道終末処理施設改築更新は、R3・4年度に策定するストックマネジメント計画に基づきR4年度以降の事業を算定し、経営戦略に反映させます。

※2 農業集落排水施設は、H25年度に策定した「最適整備構想計画」に基づき事業実施中。R5・6年度に計画を見直し今後の計画に反映させます。